

核兵器廃絶と平和な世界をめざして 東京都生協連ピースアクションニュース

第5号 東京都生協連平和活動担当者連絡会

発行日 2010年2月10日
発行者
専務理事 竹内 誠
東京都中野区中央 5-41-18
東京都生活協同組合連合
電話:03-3383-7800
<http://www.coop-toren.or.jp/>

2009年度第1回ピースセミナー ～核なき世界へ～ 田上長崎市長講演 ナガサキを最後の被爆地に！



「傍観者になってはいけない」 講演する田上富久長崎市長
2月2日 中野サンプラザ

未来に生きる子どもたちのために

東京の生協は5月の核不拡散条約再検討会議に向け 核兵器保有国に核廃絶を強く訴えます

2月2日、中野サンプラザに248人の生協組合員、生協OBや友誼団体の皆さんが集まりました。参加したみなさんの思いはひとつ。5月、ニューヨークで開催される国連の核不拡散条約(NPT)再検討会議において、「核なき世界へ」確実なスタートができることを願い、東京から核廃絶のアピールを発することでした。

今回のセミナーは、被爆地ナガサキの田上富久長崎市長を講師にお招きし、ナガサキの被爆の実相と核廃絶の取り組みについてお話していただきました。「ナガサキを最後の被爆地に」「傍観者になってはいけない」という市長の言葉を、広い会場を埋め尽くした参加者の皆さんは、重く受け止めていました。

「人間はそもそも核兵器をもつべきではなかった」田上市長講演要旨

- ・ 核兵器の問題は昔の話ではなく今の話であって、未来の話である。私たちは未来をどうつくろうとしているのか、今生きている私たちにその責任がある。
- ・ 「核兵器はいらない」という声を世界中の人々があげれば保有国政府を動かす力になる。私たちは傍観者や批評家、評論家になってはいけない。
- ・ 核兵器が人類を滅ぼすかもしれないという時代に生きている私たちの責任として、核兵器を未来に残さない、子どもたちや孫たちの世代には核兵器のない世代に戻すという意識を明確に表明する時にきている。
- ・ 被爆者の方たちが話しているのは、自分たちのために話しているのではない。自分が居なくなった後に決して核兵器を使うことがないように、そして自分が知らない国のまだ生まれていない子どもたちも核兵器の経験をするのがないようにという思いで語ってくれている。人間の辛い思いというのを思い出して話す時には、もう一度辛いことを思い出さなければならない。それは、心の中に血を流すことと同じだと思う。

被爆者の皆さんは、毎回心の中に血を流しながら話してくれている。それは、未来の子どもたちのために話してくれているということ。その思いを無にすることはできないと思うし、私たちは被爆の体験は共有できなくても核兵器を未来に残さないという思いは共有できる。

東京の生協から NPT 再検討会議に代表が派遣されます



5月3日、ニューヨークの国連において開催されるNPT再検討会議に、全国生協から多くの組合員、職員が参加します。東京の生協からも地域、医療、大学の各生協から15名を超える代表団が派遣されます。

NPT 再検討会議に向け、私たちの声をひとつにして、核兵器廃絶を求めましょう。

核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界をめざして 「2010ピースアクション in TOKYO &ピースパレード」のご案内

日時：2010年4月16日（水）10:00～12:00

場所：東京ウィメンズプラザ ホール（渋谷）

- ピースコンサート 北田康広氏（ピアニスト）
- 「伝えよう被爆者の声 今 改めて被爆の実相を知る」5月、国連で開催する「原爆展」パネル紹介
- 広島・長崎市長からのメッセージ ■ 参加団体取り組み報告 ■ 平和と核兵器廃絶に向けたアピール採択 宮下公園まで「ピースパレード」（雨天中止）

主催：「2010ピースアクション in TOKYO」実行委員会

- ・ 東京都原爆被害者団体協議会（東友会）
 - ・ 特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟
 - ・ 東京都生活協同組合連合会平和活動担当者連絡会
- 協賛：日本生活協同組合連合会

●参加費無料 お問い合わせは実行委員会事務局まで 03-3383-7800

●交通のご案内

JR 山手線・東急東横線・京王井の頭線：渋谷駅下車徒歩12分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線：表参道駅下車徒歩7分

バス（渋88系統）：渋谷駅からバス4分青山学院前バス停下車徒歩2分

